

都道府県	山梨県	報告者	山梨 JRAT 事務局 磯野弘司 連絡先 tel 0553-26-4126 mail admin@kasugai-reha.com	
団体名称／参加団体	山梨 JRAT／山梨県リハビリテーション病院・施設協議会、 一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会、 一般社団法人山梨県言語聴覚士会、一般社団法人山梨県介護支援専門員協会			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の動き	<input type="checkbox"/> 研修会実施	<input checked="" type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/>
実施日	令和 5 年 10 月 14 日	実施場所	山梨県庁・防災新館 4 階	
概要	<p>令和 5 年度中部ブロック DMAT 実動訓練</p> <p>○目的：大規模災害発生に際し、中部ブロック各県 DMAT が緊密な連携を図り、被災地における病院支援、医療搬送、救急医療等を迅速に実行できるよう実践的訓練を行う。</p> <p>○訓練想定：10月13日（金）20 時（訓練前日）に南アルプス市及び富士川町で震度 6 強、中北地域及び峡南地域で広範に震度 6 弱の震度を観測。・中北及び峡南地域全体で死者約 60 名、傷病者約 1,000 名程度。富士山において火山性地震が増加し、10月13日21 時に噴火警戒レベルが 3 に引き上げられ、翌日 8 時 30 分に噴火警戒レベルが 4 に変更となった。</p> <p>○山梨 JRAT 活動内容：保健医療救護対策本部リエゾン訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療救護対策本部に山梨 JRAT 調整本部を設置し、リエゾン対応（延べ 4 名で対応） ・本部 JRAT や山梨 JRAT メンバーへの情報伝達訓練、DMAT や JMAT の責任者と情報交換 ・訓練見学者向けに JRAT のパンフレット及び山梨 JRAT チラシを設置や情報交換 			
				
所感	<p>DMAT の訓練情報は事前に入手出来ていたが、県担当者との調整が難航し、参加が正式に決まったのは 10 月に入ってからになってしまった。そのため、訓練の人員確保に苦労した。JRAT 本部への報告も後手後手に回ってしまい、訓練想定などの事前準備のないまま当日の望む形になってしまった。しかし DMAT を含め、関係の方々には JRAT の早期介入の必要性和リエゾン連携の重要性を理解していただき、継続的な関係づくりのきっかけになった。</p>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な保健医療救護対策本部リエゾン訓練への参加及び訓練内容の充実化 ・DMAT や JMAT、県行政との継続的な連携の強化 			
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県地震防災訓練への継続的な参加 ・山梨 JRAT 活動マニュアル及び県の活動要項の調整 			
事務局への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・急な依頼にもかかわらずチャットワークで情報伝達訓練を行っていただき有難かった。 			